

令和3年度 安全啓発活動委託事業 報告まとめ

実践された内容と成果について

1 各市町において、それぞれに特徴ある活動を行うことができた。

活動内容は大きく三つに分類できる。

(1) 安全教室等の開催

- ・交通安全教室 ・自転車安全教室 ・不審者対応教室 ・救急救命講習会
- ・親子参加型スマホ・インターネット講座

(2) 備品、消耗品等の購入、作成配布

○災害時の避難対応

- ・予備用マスク
- ・熱中症指数系

○防犯対策

- ・防犯ブザー

○交通安全対策

- ・登下校指導用旗・横断旗（入れ）・襷・腕章・（LED）誘導灯
- ・一時停止を促す足形ストップマーク
- ・デジタル地図 ・通学路ハザードマップの作製
- ・コーン ・コーンチェーン ・Bluetooth スピーカー
- ・見守り隊スタッフジャンパー ・ベストの補充
- ・安全啓発看板新規製作 ・安全啓発ステッカー
- ・自転車乗車時のヘルメット着用啓発ポスター ・リーフレット作成配布
- ・ランドセルカバー配布

(3) 感染症予防対策

- ・非接触型体温計 ・サーキュレーター ・空気清浄機
- ・衛生消耗品 ・手指消毒液
- ・手洗い啓発しおり

(4) その他

- ・「水害ハザードマップ」の配布 ・熊すず
- ・カーブミラー清掃 ・四つ折り担架

2 成果

○保護者・地域、教職員、児童生徒の安全に対する意識が高まった。

○地域、保護者の要望に沿った活動、備品等の購入ができた。

○感染症対策に役立てることができた。

- ・揃いの襷、腕章をつけ活動することで一体感が生まれた。
- ・デジタル地図等の活用で、校区内の通学路の安全確認に役立った。
- ・「水害ハザードマップ」をもとに、家族で防災について話し合い、防災の意識も高まった。
- ・Bluetooth スピーカーはワイヤレスで持ち運びが容易、防水のため、場所や天候に制限なく活動できた。
- ・プールや海での安全、プール開放のための監視員としての役割、対処法を学ぶことができた。
- ・親子参加で、子どもとのかかわりでのインターネットに対する理解が進んだ。
- ・子どもからもスマホのルールと親の気持ちの理解が深まった。
- ・自転車ヘルメット着用率の向上が見られた。
- ・空気清浄機により換気対策が進んだ。
- ・生徒の熱中症対策に役立った。